

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人 大美学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
衛生専門課程	美容科 (2年制)	夜・ 通信	63単位 (1890時間)	7単位 (160時間)	
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.daibi.ac.jp/about/report/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人 大美学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.daibi.ac.jp/about/report/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・ 非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人理事長 (令和元年9月～)	令和7年6月23日～ 令和10年6月定時評議員会終結の時	経営運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人理事長 (令和5年5月～)	令和7年6月23日～ 令和10年6月定時評議員会終結の時	経営運営体制への チェック機能
非常勤	学校法人専務理事 (平成13年～)	令和7年6月23日～ 令和10年6月定時評議員会終結の時	経営運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	学校法人 大美学園
設置者名	大阪美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
【作成に係る取組み】 授業計画書については、毎年度学内会議を開催し、以下の内容について検討を行うことで授業計画を作成している。 ・授業内容 ・到達目標 ・授業方法 ・授業科目の設定 ・授業スケジュール ・担当教員の選定 ・成績評価の方法・基準 ・その他必要事項 【公表に係る取組み】 授業計画書を新年度オリエンテーションにて配布するとともに、HP上に公開している。また、生徒からの相談に対応できるよう当該コース主任のもとにクラス担任教員を配属し相談体制を整えている。加えて学籍に関する事務的担当窓口を総務部にて設置し、連携した指導・支援を行っている。	
授業計画書の公表方法	https://www.daibi.ac.jp/course/total/#course-pdf

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 実習・学科ともに定期試験や課題提出のほか、小テスト・レポート等による学習成果の確認を実施。また、履修状況と授業内評価を踏まえ科目担当者が成績を評価している。 なお、出席率 70%未満の生徒については成績評価の対象としていない（定期試験の受験資格は原則出席率 70%以上）。 科目担当者が行った評価結果について、学内成績判定会議による履修認定を実施している。授業科目の出席時数が法定時数以上あり、学年末の成績評価が 2 以上で、単位を付与し認定する。	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) ・各授業教科において、前期・後期の各期末に筆記試験や実技試験を基本とした試験を実施する。 一部授業では、小テストやレポート提出などのその他課題も実施する。 ・試験、その他課題、出席率、受講態度などを総合的に判断し、各授業科目の学修成果の評価および単位認定を下記のように行う。 ・授業科目の成績評価は、定期試験による成績、並びに授業態度や提出物の状況等による平常成績を総合的に勘案して 5 段階評定で行う。 尚、5 段階評価の基準は次の通りとする。 ①評価 5 (85 点～100 点) ②評価 4 (70 点～ 84 点) ③評価 3 (60 点～ 69 点) ④評価 2 (0 点～ 59 点) ※追試験成績 合格 (60 点～100 点) ⑤評価 1 (0 点～ 59 点) ※追試験成績不合格 (0 点～ 59 点)	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.daibi.ac.jp/course/total/#course-pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 下記の審査基準により、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ認定し、卒業証書を授与する。 1. 所定の修業年限以上在学し、卒業認定試験に合格していること。 2. 規定の科目を全て履修し、教育課程を修了したと認められていること。 3. 規定の納付金を完納していること。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.daibi.ac.jp/course/total/#course-pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪美容専門学校
設置者名	学校法人 大美学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
収支計算書又は損益計算書	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
財産目録	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
事業報告書	https://www.daibi.ac.jp/about/report/
監事による監査報告（書）	https://www.daibi.ac.jp/about/report/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		衛生専門課程	美容科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	6 7 単位 (2, 010 時間)	2 2 単位 (660 時間)	0 単位 (0 時間)	4 5 単位 (1350 時間)	0 単位 (0 時間)	0 単位 (0 時間)
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
6 6 人		5 4 人	0 人	3 人	0 人	3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
本校教育理念に基づき、美容業界で活躍するための技術・知識・心構えなど美容師国家試験合格基準を主要な到達目標として計画的な指導を行っている。 目標達成に向けて必要な必修科目・選択科目をカリキュラム編成時に適切に配分し、その修了に必要な授業時間数、学習内容を学則に明確に示している。また成績評価の方法・基準に関しては学則で明確に規定し、本校ホームページで公表している。 単位と授業時数の関係は1単位を30時間としており、シラバスもこの関係に沿って単位で表している。

成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価の基準に関して学則で規定し、本校ホームページで公表している。学生の成績状況等に関しては、実施要綱に基づく定期試験を半期毎に行い、管理・指導している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業（進級）認定に関しては認定評価の基準を明確化し、客観性、統一性が保たれている。その上で校長・教務部長など複数名の管理職による判定会議を開催し適正に判断し運用されている。
学修支援等
(概要) 学習成果の目標である美容師国家資格取得に必修となる教科ごとに定期試験を実施し、到達レベルを定めている。目標に向けての指導、支援体制として、受験対策、模擬試験、補習などを実施している。併せて月毎に管理している履修状況を基に、段階的な指導・支援を行い評価・履修認定を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
17人 (100%)	0人 (0%)	13人 (76.5%)	4人 (23.5%)
(主な就職、業界等) 美容室、ネイリスト、メイクアップアーティスト、アイリスト			
(就職指導内容) 指導方針は「マッチング」。充実した人生を続けるために「自分にあった、納得いく就職=自己理解+職業理解」を軸に指導。指導は担任をはじめ卒業生を含めた業界人、公的就職支援関係者等と連携して実施。			

(主な学修成果（資格・検定等）） ・美容師国家資格 ・ ABE メイクアップアシスタントディレクター ・ ABE エステティックアシスタントディレクター ・ ABE まつ毛エクステンションアシスタントディレクター ・ ABE ネイルアシスタントディレクター ・ JNEC ネイリスト技能検定 3 級 ・ JNA ジェルネイル技能検定初級 ・ パーソナルカラリスト検定 2 ～ 3 級 ・ プロフェッショナルメイクアップアーティスト ・ アイブロウトリートメント検定 ・ 日本化粧品検定 1 ～ 2 級 ・ 百日草着付検定 ・ 環境カオリスタ検定 ・ ナチュラルビューティースタylist検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
45 人	9 人	20 %
(中途退学の主な理由) 学校生活不適合、進路変更、その他		
(中退防止・中退者支援のための取組) 1 クラスを少人数とし教員が生徒一人ひとりを直接指導しています。また、クラス担任制で担任および生活指導担当が指導にあたります。美容の学習は実習授業が多いことから「しっかり・何度も」が上達の秘訣と指導し、時には保護者の方を交えての話し合いをするなど親身になった指導を心掛けています。		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	200,000 円	704,000 円	633,000 円	その他には、施設費(300,000 円)、教科書・教材費(税込 286,000 円)、行事・研修費(40,000 円)、学生安全管理費(7,000 円)を含む
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.daibi.ac.jp/about/report/		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価者メンバーには保護者、卒業生及び関連企業、連携校にも依頼しており自己評価結果について評価と意見を聴取する。重点的に取り組むべきことを把握し、学校全体としての教育活動の充実・改善方策を策定し理事長を責任者として遅滞なく改善方策を実施し改善を進めていく。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
・ 会社員	2025. 4. 1～ 2027. 3. 31 (任期更新)	保護者
・ 美容師	2020. 4. 1～ 2027. 3. 31 (任期更新)	卒業生
・ 八洲学園高等学校	2020. 4. 1～ 2027. 3. 31 (任期更新)	技能連携校委員
・ 石川公認会計士	2020. 4. 1～ 2027. 3. 31 (任期更新)	企業等委員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.daibi.ac.jp/about/report/		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.daibi.ac.jp/>